モリメイトの里山づくり

モリメイト通信

発行 2018 年　6 月 30 日
通算 185 号
三重県上野森林公園モリメイト
本気で遊ぼう！モリメイト

6 月 7 日（木曜日）　ハナショウブがお出迎え

【参加者：池本、芝田香、鈴木哲、中、山本、鈴木明　　計６名　】

ハッチョウトンボが飛び始める

先週、たくさんの蕾を付けていたハナショウブが一斉に花を咲かせ、モリメイトフィールドで私たちを待っていてくれた。梅雨空と緑の中で咲く、紫と白の色のコントラストが実に美しい。

モリメイトフィールド周辺の草刈りの途中に一息つくときもハナショウブが目に飛び込み、心和ませてくれていた。

秘かに
ササユリが

小川の両岸がきれいに草刈りされて森の奥まで道が続き、のどかな里山の風景が戻ってきている。

6 月 14 日（木曜日）「森の音楽会」舞台用の杉を除伐

【参加者：池本、梶川、芝田香、鈴木哲、中、山本　　計 7 名】

モリメイトフィールドの奥の杉林で、森の音楽会の舞台に使う杉（直径 10 センチ前後）7～8 本と公園内の小川に架ける丸木橋用の杉（直径 25 センチ前後）2 本を除伐した。その後、この 10 本の木材を 4 メートルの長さに切り、作業台に乗せ、手慣れた手つきで、次々に皮を剥がして行った。この時期の木は、水をたくさん含んでおり、気持ちよくはがすことができた。

作業の後、サギ草園に行き、森林公園で見られる希少な植物であるカキランをカメラに納めた。カキの実の色に似ていることからこの名がついたそうである。

6 月 21 日（木曜日）

カブトムシの森、モリメイトフィールド周辺の草刈り･モリメイト会議

【参加者：池本、梶川、芝田香、中、山本、鈴木明　　計 6 名】

斜面の草刈りは気を使うなあ

今日は 1 日中草刈り。カブトムシの森、モリメイトフィールド周辺にそれぞれが散らばり黙々と作業を続けた。単純な作業ではあるが緊張感を持って慎重に刈払機を動かし、奥へ奥へと進めていった。ある程度刈っては、今来たところを振りかえり、森が明るく風の通る場所になっていることを確かめて、再び刈り始める。そして、最後に「ヤッター」と声をあげて満足感に浸る。暑さの中の草刈りも楽しみたいモリメイトである。

モリメイト会議

- **「森の音楽会」の出演者が決まり、今後の流れを確認する。**
- **「コープ三重環境活動寄付金申請書」「森林ボランティア活動支援事業（クヌギの森作り）申請書」を検討する。**

6 月 28 日（木曜日）クヌギの苗木をポットに移植する

【参加者：池本、梶川、芝田香、鈴木哲、中、山本　　計 6 名】

梅雨の末期、湿度の高い蒸し暑い中での作業であったが、時おり、木々を抜けてくる風が汗をぬぐってくれた。

中さんが家でプランターで育てていたクヌギの苗木約 60 本を持ってきてくれたので、「クヌギの森作り」の参加者が移植しやすいように、1 本ずつポットに移し替える作業を行った。ポットは梶川さんが提供してくれたものである。ビートルズベッドの腐葉土を入れ、土が崩れないように丁寧に苗木をポットに写した。その後、ウォータースペースを残して隙間に土を入れ、軽く押さえて安定させた。最後に水をかけて、60 本の苗木をすべて移し替えることができた。「クヌギの森作り」に向けての準備も着々と進んでいる。

午後は、ビートルズベッド周辺の草刈りを行った。

ネジキが馬酔木に似た白い鈴のような花をつけていた